

工学部（学士(工学)）の卒業の認定に関する方針

日本大学工学部は、日本大学教育憲章に基づき、「日本大学の目的及び使命」を理解し、次表に示す「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力に基づく本学部における能力を修得した者に、「学士（工学）」の学位を授与する。

日本大学教育憲章 （「自主創造」の3つの構成要素及びその能力）		卒業の認定に関する方針	
構成要素(コンピテンス)	能力（コンピテンシー）	構成要素(コンピテンス)	能力（コンピテンシー）
豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。	豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	工学技術が社会と環境に及ぼす影響を理解し、幅広い知識・教養に基づく高い倫理観を涵養することができる。
世界の現状を理解し、説明する力	世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。	日本及び世界の現状を理解し、説明する力	グローバル化する社会における工学技術者として、多文化や異文化に関する知識や国際社会が直面している問題を理解し説明することができる。
論理的・批判的思考力	得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。	論理的・批判的思考力	体系化された継続的な学修により工学の基礎力を身につけ、工学技術者として論理的、批判的な思考をすることができる。
問題発見・解決力	事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	問題発見・解決力	工学の基礎力に基づいて、自ら問題を発見し考察できる発想力と分析力を持ち、問題の解決策を提案できる。
挑戦力	あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。	挑戦力	地球環境の保全や健康的な生活に工学の立場から寄与し、持続可能な社会の実現のために、あきらめない気持ちを持って果敢に挑戦することができる。
コミュニケーション力	他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。	コミュニケーション力	社会性を持つ工学技術者として、常に他者の意見に耳を傾け、自らの意見を相手に伝えることができる。
リーダーシップ・協働力	集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	リーダーシップ・協働力	工学技術者の立場から他者との協働を通して、リーダーとして他者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。
省察力	謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。	省察力	自己を見つめ、自らの言動を謙虚に振り返り、工学技術者として自己を高めることができる。

土木工学科 ディプロマ・ポリシー

土木工学科では、「日本大学教育憲章」、本学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー、並びに土木工学科の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に基づく教育課程において、規定の在籍期間で以下に定める各項目を満たした学生に対して、学士（工学）の学位を授与します。

社会基盤や環境の保全と防災力向上、資源の循環といった社会の要請に応える専門技術者として、豊かな教養、自然科学及び情報処理に関する基礎を養った上で、土木工学に関する基礎的な知識を有する。

高い倫理観と国際的な視野に立ち、国際社会や地域社会における多様な価値観の中で、自然との共生を図りつつ、健全で持続可能な社会システムのあり方について考えることのできる能力を有する。

人間性豊かな技術者として、自主的かつ継続的に物事を考え、行動すると共に、他者とのコミュニケーションや協働を通して、総合的に課題を解決できる能力を有する。

社会基盤の整備に実践的に従事できる技術者として、土木工学分野で求められるものづくりに対する基礎技術・技能を養い、多様な資格取得を目指すことのできる能力を有する。

建築学科 ディプロマ・ポリシー

建築学科では、「日本大学教育憲章」、本学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー、並びに建築学科の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に基づく教育課程において、規定の在籍期間で以下に定める各項目を満たした学生に対して、学士（工学）の学位を授与します。

建築学に関する幅広い知識と、専門性の高い「計画・設計」、「構造・材料」、「環境・設備」の知識を有する。

持続可能な社会の実現のために地球環境の保全や健康的な生活に建築学の立場から寄与できる能力を有する。

自らの専門分野で倫理観や責任感を持ち、幅広い教養と知識を活用して、自主的に実践できる能力を有する。

グローバル化を意識しながら、建築を通して幅広く社会に貢献できる能力を有する。

機械工学科 ディプロマ・ポリシー

機械工学科では、「日本大学教育憲章」、本学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー、並びに機械工学科の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に基づく教育課程において、規定の在籍期間で以下に定める各項目を満たした学生に対して、学士（工学）の学位を授与します。

機械エンジニアとしての基本的な能力を有する。

機械と人間、社会及び自然との関係を深く理解し、地球環境保護、資源再利用などの課題に挑戦できる基本的な能力を有する。

健康で持続可能な暮らしのために、「ロハスの機械」に関する知識を養い、工学の立場から寄与できる基本的な能力を有する。

電気電子工学科 ディプロマ・ポリシー

電気電子工学科では、「日本大学教育憲章」、本学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポ

リシー，並びに電気電子工学科の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に基づく教育課程において，規定の在籍期間で以下に定める各項目を満たした学生に対して，学士（工学）の学位を授与します。

情報通信・電気・電子の各分野における専門知識や技術を体系的に理解していると共に，応用・実践できる能力を有する。また，この分野の理解に必要な自然科学科目と基礎的な情報技術が活用できる能力を有する。

国際的な視野に立って活躍するために必要なコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を有し，グローバル化する社会の一員として国際社会への貢献を実践し得る能力を有する。

実社会における異なる専門分野の技術者集団の中で，協調と円滑な課題遂行のためのチームワーク力が発揮でき，自己のもつ専門性を発揮することができる能力を有する。

社会人として倫理観をもち，情報通信及び電気電子技術に関わる社会環境の変化の新たな課題を自主的かつ継続的に解決することができ，第一線で活躍できる能力を有する。

修得した知識・技能を活用し，持続可能な社会の実現のため，地球環境，エネルギー，健康・生活に関して電気電子工学の立場にたって考え，さらに応用できる能力を有する。

生命応用化学科 ディプロマ・ポリシー

生命応用化学科では，「日本大学教育憲章」，本学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー，並びに生命応用化学科の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に基づく教育課程において，規定の在籍期間で以下に定める各項目を満たした学生に対して，学士（工学）の学位を授与します。

工学の基礎力及び実験を通して，自主的に考察し判断できる発想力と解析力を持ち，他者との協働を通じて課題を解決する能力を有する。

持続型社会の実現のため地球環境の保護や健康的な生活に工学の立場から寄与しようとする意欲と行動力及び継続的な学習能力を有する。

応用化学，環境化学及び生命化学における体系的な工学の基礎力を有する。

化学技術が社会と環境に及ぼす影響と，多文化や異文化に関する知識や国際社会が直面している問題を理解し，グローバル化する知識基盤社会の一員としての自覚を持てる幅広い教養と高い倫理観を有する。

社会性をもつ化学技術者として、常に他者の意見に耳を傾け、自らの意見を相手に伝えることができるコミュニケーション力と、自己を見つめ、自らの言動を謙虚に振り返ることができる自己分析力を有する。

情報工学科 ディプロマ・ポリシー

情報工学科では、「日本大学教育憲章」、本学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー、並びに情報工学科の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に基づく教育課程において、規定の在籍期間で以下に定める各項目を満たした学生に対して、学士(工学)の学位を授与します。

社会や自分の将来について考えるための知識と能力を有する。

工学系専門知識を修得するために必要となる基礎知識と応用能力を有する。

情報系技術者としての倫理と職業観を有する。

情報系技術者として必要な専門知識と応用能力を有する。

課題を解決するために必要な論理的思考力及び実務処理能力を有する。

職務を遂行するために必要なコミュニケーション能力を有する。